

お子様のお写真の撮り方

写真例にそって、お子様のお写真を公式LINEへご提供ください。

撮影方法が不明な場合は、お手数ですがBASHiP Webサイトの問い合わせフォーム、もしくは、situmon@baship.netからお問い合わせください。

撮影時、以下の点にご注意ください。

- ・髪の毛はゴムでまとめ、長髪のお子様はポニーテールではなくお団子か、上に束ねてください。
- ・できるだけ体のライン見えやすい短パン・Tシャツなどで、かつ裸足での撮影をお願いします。審美系スポーツの方は、可能な限りレオタードでの撮影をお願いいたします。
- ・お子様には、「もっと背筋を伸ばして」「もっと顎を引いて」などの指摘はしないよう、自然のままに撮影してください。
- ・基本的には、練習1回→本番1回で撮影してください。(いつもになくバランスを崩してしまった場合などは再度取り直していただいても構いません。)
- ・初めの立ち位置と、お子様のカメラとの距離が毎回変わることをないよう、固定の場所で撮影してください。

【良くない例】

- ①フード付きもの
- ③厚手のトレーナー類
- ⑤靴下を履いている

①



- ②足元、手首が見えない（裾や袖をできるだけまくり上げてください）
- ④お尻まで覆ってしまうもの（シャツをズボンの中に入れてください）
- ⑥短パンの下にタイツを履く（タイツだけが理想）

②③



④



⑤⑥



1 正面



2 左横



3 後ろ



4 右横



5 腕クロス左



6 腕クロス右



7 腕フリー左



8 腕フリー右



5 6 腕を胸の前でクロスし、左右にできるだけ振り向きませう。

7 8 腕を肩から垂らしたまま、左右にできるだけ振り向きませう。振り向いたときに腕を振らないようにして下さい。

※このとき両脚はそろえて、動かさないようにして下さい。

9 バンザイ



10 前屈



11 後屈



9 「もっと腕を上げて」などと指摘しないように下さい。

10 バンザイで腕を伸ばした状態から、可能な限り床に手を伸ばし、前屈して下さい。

11 バンザイで腕を伸ばした状態から、可能な限り後方へ反って下さい。

ブリッジしてしまうようなら、その手前で撮影して下さい。

12前ならえ



13しゃがみ込み



14右片足立ち



15左片脚立



12 前ならえですが、手の平は下を向き、楽に両手を前に上げます。

13 前ならえから、しゃがみます。

1415 上げた方の膝は、腰の高さまで上げるようにしてください。

もし腰に到達する前にバランスを崩すなら、上げられるまでの高さで撮影してください。

基本的に、練習は左右 1 回ずつです。

16中腰



17右足踏み出し



18左足踏み出し



16 両手を腰に置き、膝が90°くらいになるまでしゃがみます。

17 両手を腰に置き、右足を一步前に大きく踏み出し、膝が90°になるまで曲げます。

18 両手を腰に置き、左足を一步前に大きく踏み出し、膝が90°になるまで曲げます。

もしバランスを崩すなら、崩れる直前を撮影してください。

練習は左右 1 回ずつです。

19 右膝抱え(真横から撮影)



20 左膝抱え(真横から撮影)



19 20 片脚をお腹の前でギュッと、しっかり抱え、床の脚は十分リラックスさせてください。
床の脚がリラックスできていないようなら、保護者様の手で、少し脚を揺らして脱力させてあげてください。

21 右膝抱え(横から撮影)



22 左膝抱え(上から撮影)



21 22 片脚の足首を持ち、踵がお尻につくまで後方に引っ張ってください。
(踵につかなければ、できる限りで大丈夫です)
床の脚の膝は90°ほど十分に曲げて、体の安定を図ってください。
上体は、うつぶせぎみや、仰向けぎみにはならず、しっかり横を向いてください。